

私達の生活にはその人達の住む地域、その場所によりそれぞれに適応した環境があります。コンクリートだらけの都心では、川の護岸をコンクリートブロックで造ることはあまり違和感がないかもしれませんが、自然豊かな釧路川源流にはもっと環境に配慮すべきと思います。現在では、ほとんどの護岸ブロックからセメントのアクが白く垂れながれて、見るに耐えられない状態です。護岸が垂直に近いせいもあり、お城のお堀の石垣に似て、人の近かすけない危険な場所のイメージになっています。

人々が水に触れ合い、川を利用しての行事を並して川と親しみ自然から潤いを受ける地域住民の生活があってもいいのではないのでしょうか。

川辺の水草や、木々が川の生物を育て、自然と共存する事がひいては海の生物の連鎖にもつながっていくことになります。

現在の護岸になるまでは、川に中州がありそこには草花や木々が育ち、川辺には水草が豊富で本当に沢山の昆虫やトンボがあふれ、多種の魚や川エビ、ザリガニ、貝など数えきれない営みがあるリサイクルある環境でした。しかしその場所は、いまでは白鳥も留まっていれないほどの水の流れです。

川を囲って隔てるのではなくて、それを環境として上手に利用するよう修復をお願いします。



